

1. 製品及び会社情報

製品名：カーシャンプースーパーワックス IK-04-03, IK-04-10, IK-04-18

製品番号：411 0403 0000、411 0410 0000、411 0418 0000

用途：自動車車体用ワックス入り洗剤

製造販売元：株式会社チップトップジャパン

住所：〒452-0821 愛知県名古屋市西区上小田井2丁目338

電話番号：052-502-3500

FAX番号：052-502-3620

2. 危険有害性の要約

GHS分類

- ・該当事項無し。

GHSラベル要素

- ・該当事項無し。

他の危険有害性

- ・情報なし。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別

- ・混合物

4. 応急措置

吸入した場合

- ・気分が悪いときは、医師の診断手当を受けること。
- ・症状が続く場合には、医師に連絡すること。

皮膚に付着した場合

- ・多量の水で洗うこと。症状が続く場合には、医師に連絡すること。

眼に入った場合

- ・水で15～20分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを装着していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。症状が続く場合には、医師に連絡すること。

飲み込んだ場合

- ・水で口をすすぎ、ただちに医師の診断を受けること。

5. 火災時の措置

適切な消火剤

- ・水噴霧、粉末消火剤、泡消火剤、二酸化炭素を使用する。

使ってはならない消火剤

- ・火災が周辺に広がる恐れがあるため、直接の棒状注水を避ける。

特有の危険有害性

- ・火災等の場合は、毒性の強い分解生成物が発生する可能性がある。

特有の消火方法

- ・火元への燃焼源を断ち、消火剤を使用して消火する。
- ・延焼のおそれのないよう水スプレーで周囲のタンク、建物などの冷却をする。
- ・消火活動は風上から行う。
- ・火災場所の周辺には関係者以外の立ち入りを規制する。
- ・危険でなければ火災区域から容器を移動する。

消火を行う者の保護

- ・消火作業の際は、適切な自給式呼吸器用保護具、服や皮膚を保護する保護服、(耐熱性)を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

- ・関係者以外の立ち入りを禁止する。
- ・作業者は適切な保護具を着用し、眼、皮膚への接触や吸入を避ける。

環境に関する注意事項

- ・周辺環境に影響がある可能性があるため、製品の環境中への流出を避ける。

封じ込め、浄化の方法及び機材

- ・危険でなければ漏れを止める。
- ・取扱いや保管場所の近傍での飲食の禁止。
- ・すべての発火源を速やかに取り除く。(近傍での喫煙、火花や火炎の禁止)
- ・排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流出を防ぐ。
- ・液体を凝固させる材質(砂、けいそう土など)を用いて、取り除く。
- ・十分に換気をすること。ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸い込まないこと。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

- ・「8. 暴露防止及び保護措置」に記載の措置を行い、必要に応じて保護具を着用する。

安全取扱注意事項

- ・包装していない製品を取り扱う際は、局所排気を備えた装置を使用しなければならない。
- ・ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸い込まないこと。
- ・取扱い後はよく手を洗うこと。
- ・熱、火花、裸火、高温のもののような着火源から遠ざけること。
- ・静電気放電に対する予防措置を講ずること。

接触回避

- ・高温物、酸化剤などから避けること。

衛生対策

- ・汚れて濡れた衣服は、直ちに脱ぐこと。皮膚用保護クリームによる、皮膚の保護、休憩前や終業後は、手と顔を念入りに洗うこと。必要であればシャワーを浴びること。

保管

技術的対策

- ・密封された容器に入れ十分な換気がされた冷暗場所に保管する。

混触禁止物質

- ・酸化剤等

容器包装材料

- ・破損や漏れのない密閉可能な容器を使用する。

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度、許容濃度

- ・資料なし

設備対策

- ・取扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設ける。
- ・高温下や、ミストが発生する場合は換気装置を使用する。

保護具

- ・呼吸用保護具
- ・必要に応じて保護マスクや呼吸用保護具を着用する。

手の保護具

- ・溶媒耐性のある保護手袋を着用する。

目の保護具

- ・目に入るおそれのある場合、保護眼鏡やゴーグルを着用する。

皮膚及び身体の保護具

- ・必要に応じて保護衣、保護エプロンなどを着用する。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態：液体

色：白濁

臭い：柑橘系

沸点、初留点及び沸騰範囲：情報なし

可燃性：情報なし

爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界：情報なし

引火点：情報なし

自然発火点：情報なし

分解温度：情報なし

pH：8.0

動粘性率：情報なし

溶解度：情報なし

蒸気圧：情報なし

密度及び/又は相対密度：情報なし

相対ガス密度：情報なし

粒子特性：情報なし

10. 安定性及び反応性

反応性、化学的安定性

- ・通常の取扱い条件下では安定である。

危険有害反応可能性

- ・通常の取扱い条件下では危険有害反応を起こすことはない。

避けるべき条件

- ・発火の危険があるため加熱を避けること。

危険有害な分解生成物

- ・火災等の場合は、毒性の強い分解生成物が発生する可能性がある。

11. 有害情報

製品の有害性情報

皮膚腐食性及び皮膚刺激性

- ・皮膚又は粘膜に長時間あるいは反復して接触すると、発赤や水疱、皮膚の炎症などの刺激症状につながる。

眼に対する重篤な損傷性又は目刺激性

- ・刺激性を示す。

12. 環境影響情報

製品の環境影響情報

生体毒性

- ・情報なし

残留性・分解性

- ・情報なし

生体蓄積性

- ・情報なし

土壌中の移動性

- ・情報なし

オゾン層への有害性

- ・情報なし

その他

- ・通常の使用では生体上の影響は知られていない。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物

- ・廃棄においては、関連法規則ならびに地方自治体の基準に従うこと。
- ・都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、又は地方公共団体が廃棄物処理を行っている場合はそこに委託して処理する。
- ・下水道に流してはいけない。

汚染容器及び包装

- ・容器は洗浄してリサイクルするか、関連法規制ならびに地方自治団体の基準に従って適切な処分を行う。
- ・空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

14. 輸送上の注意

該当事項無し。

15. 適応法令

該当事項無し。

16. その他の情報

○参考文献

- ・製造元メーカー提供資料
- ・NITE GHS 分類結果一覧等

○その他

- ・4～8 並びに 10～12 の項目のデータの一部は、使用目的は使用方法についての情報だけでなく、事故や不測の事態の場合の重要な事について記載していますが、危険性や項目に該当しない使用法による瑕疵は、その責を負いかねます。この情報は本製品を安全に使用する必要条件について述べており、弊社の知りえる範囲を基としています。このデータは、法的規制によって、製品の性質を明確に保証するものではありません。